

## 『標準皮膚科学 第11版』 正誤表

このたびは『標準皮膚科学 第11版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。第1刷（2020年2月1日発行）におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2020年3月11日作成

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	407頁, NOTE タイトル	手部水疱性膿皮症と水疱性遠位指端炎の異同	水疱性遠位指端炎と手部水疱性膿皮症の異同	2020/ 3/11
1	407頁, NOTE 上から1~2行目	手部水疱性膿皮症 blistering distal dactylitis (図1)は水疱性遠位指端炎 pyoderma bullosum manuum (図2)に	水疱性遠位指端炎 blistering distal dactylitis (図1)は手部水疱性膿皮症 pyoderma bullosa manuum (図2)に	2020/ 3/11
1	407頁, NOTE 図タイトル	図1 手部水疱性膿皮症 図2 水疱性遠位指端炎	図1 水疱性遠位指端炎 図2 手部水疱性膿皮症	2020/ 3/11



## NOTE

## 水疱性遠位指端炎と手部水疱性膿皮症の異同

水疱性遠位指端炎 blistering distal dactylitis(図 1)は手部水疱性膿皮症 pyoderma bullosa manuum(図 2)に包含される疾患概念で、小児の手指先端の指腹に局限した水疱を特徴とする。鑑別診断は、熱傷や疱疹状癩瘡である。本来は、化膿レンサ球菌感染症として報告されたが、黄色ブドウ球菌が分離される症例も報告されている。pyoderma bullosa manuum は、手指・手掌に水疱を形成する黄色ブドウ球菌、化膿レンサ球菌による膿痂疹であるが、この病名はテキストで取り上げられることが少なくなった。



図 1 水疱性遠位指端炎



図 2 手部水疱性膿皮症